



## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 キッセイ薬品工業株式会社

コード番号 4547 URL <http://www.kissei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神澤 陸雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務管理部長 (氏名) 佐藤 公衛

TEL 0263-25-9081

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日

平成22年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	30,976	△2.2	2,782	△28.1	2,952	△28.4	1,449	△39.8
22年3月期第2四半期	31,664	4.5	3,871	43.9	4,125	46.8	2,406	54.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	26.70	—
22年3月期第2四半期	44.33	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	142,838	122,557	85.7	2,254.74
22年3月期	147,022	124,221	84.4	2,285.37

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 122,375百万円 22年3月期 124,039百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
23年3月期	—	17.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,800	5.8	6,600	0.2	7,200	△0.3	4,200	△3.9	77.38

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】4ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	56,911,185株	22年3月期	56,911,185株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	2,636,529株	22年3月期	2,635,681株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	54,274,886株	22年3月期2Q	54,290,295株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提条件その他に関する事項につきましては、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
4. 補足情報 .....	11
(1) 販売実績 .....	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における医薬品業界は、後発品使用促進策等の医療費抑制施策の進展に加え、本年4月に実施されました薬価改定におきまして、新薬創出・適応外薬解消等促進加算が試行的に導入される一方で長期収載医薬品の追加引下げなどが実施されるなど、引き続き厳しい経営環境のもとに推移しております。また、情報サービス業界、物品販売業界、建設業界におきましては、企業におけるIT投資及び設備投資の抑制や個人消費の低迷など、内需の停滞を背景に依然として厳しい競争環境下にありました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	増減率 (%)
売上高 (百万円)	31,664	30,976	△2.2
営業利益 (百万円)	3,871	2,782	△28.1
経常利益 (百万円)	4,125	2,952	△28.4
四半期純利益 (百万円)	2,406	1,449	△39.8

医薬品事業の売上高は、278億8千7百万円（前年同期比1.1%増）となりました。薬価基準引下げの影響などにより既存製商品の売上高が減少いたしました。前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「ユリーフ」、糖尿病治療薬「グルファスト<sup>®</sup>」及び口腔乾燥症状改善薬「サラジェン<sup>®</sup>」が引き続き伸びたほか、技術料売上が増加いたしました。また、日本ケミカルリサーチ株式会社と共同開発を行い本年1月に製造販売承認を取得いたしました腎性貧血治療薬「エポエチンアルファBS注JCR」につきましては、本年5月に新発売いたしました。このほか、欧州における前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬シロドシン（一般名、日本製品名ユリーフ）の技術導出先でありますレコルダッチ社（イタリア）では、本年1月にEC（欧州委員会）より販売承認を取得していましたが、本年6月にドイツにおいて製品名「UROREC<sup>®</sup>」として新発売いたしました。また、昨年11月に中国において輸入承認を取得いたしました糖尿病治療薬ミチグリニド（一般名、日本製品名グルファスト）につきましては、独占的開発・販売権を供与いたしておりますエーザイ株式会社により、本年9月に新発売されました。

その他の事業の売上高は、30億8千8百万円（前年同期比24.2%減）となりました。情報サービス業で増収となりましたものの、物品販売業、建設請負業におきまして減収となりました。

利益面では、医薬品事業において増収や売上原価率の低減などの増収要因がありました一方で、研究開発投資を積極的に行い販売費及び一般管理費が大幅に増加いたしましたこと、ならびにその他の事業で減収となりましたことなどにより営業利益が減少いたしました。また、投資有価証券評価損の計上及び資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う影響額の計上などの減収要因がありました。

研究開発の状況につきましては、本年4月に糖尿病治療薬（グルファストと $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害剤との配合剤、開発番号KMV-0207）の承認申請を行いましたほか、同月にプロトックス社（カナダ）が開発中の前立腺肥大症治療薬「遺伝子組換え型プロアエロリシン」につきまして、国内での独占的開発・販売権を取得する契約を締結いたしました。また、本年9月にはビフォーファーマ社（スイス）が開発中の透析時高リン血症治療薬「酸化水酸化鉄製剤」につきまして、国内での独占的開発・販売権を取得する契約を締結いたしました。このほか、各テーマの研究開発を推進しております。なお、第Ⅲ相臨床試験を実施してございました過活動膀胱治療薬（開発番号KUC-7483）につきましては、有効性について期待した結果が得られず、試験成績について詳細な検討を実施いたしました結果、開発を中止することいたしました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は1,428億3千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ41億8千3百万円減少しました。流動資産は851億5百万円となり、5億3千4百万円減少しております。主な要因はたな卸資産が増加しました一方で、現金及び預金、受取手形及び売掛金、流動資産「その他」に含まれる前払費用が減少したことによります。固定資産は577億3千2百万円となり、36億4千9百万円減少しております。主な要因は時価評価により投資有価証券が減少したことによります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は202億8千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億2千万円減少しました。流動負債は142億5千8百万円となり、18億5千5百万円減少しております。主な要因は流動負債「その他」に含まれる未払金、前受金が増加しました一方で、支払手形及び買掛金、未払法人税等が減少したこ

とによります。固定負債は60億2千2百万円となり、6億6千4百万円減少しております。主な要因は固定負債「その他」に含まれる長期未払金が減少したことによります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は1,225億5千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億6千3百万円減少となりました。主な要因はその他有価証券評価差額金が減少したことによります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の84.4%から85.7%となりました。

## 2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より2億5千1百万円増加し、当第2四半期連結累計期間末では489億3千2百万円（前連結会計年度末比0.5%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期比45億2千万円減の18億1千万円となりました。主な要因はその他流動資産の減少、及びその他流動負債の増加などの資金の増加要因はありましたが、税金等調整前四半期純利益が減少したこと、法人税等の支払額が増加したこと、及びたな卸資産の増加により資金が減少したことなどによります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期比1億2千9百万円支出減の9億1千1百万円の支出となりました。主な要因は有形固定資産の取得による支出が増加した一方で、投資有価証券の取得による支出が減少したことなどによります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期比2億7千万円支出減の6億4千4百万円の支出となりました。主な要因は株主配当金の支払いは増加しましたが、短期借入金の返済による支出が減少したこと、及び長期借入れによる収入があったことなどによります。

## （3）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想の修正につきましては、平成22年10月29日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照してください。修正いたしました連結業績予想数値は以下のとおりであります。

### 連結業績見通し

	22年3月期実績	23年3月期見通し	対前期増減額	増減率(%)
売上高（百万円）	62,178	65,800	3,622	5.8
営業利益（百万円）	6,584	6,600	16	0.2
経常利益（百万円）	7,221	7,200	△21	△0.3
当期純利益（百万円）	4,371	4,200	△171	△3.9

### （参考）個別業績見通し

	22年3月期実績	23年3月期見通し	対前期増減額	増減率(%)
売上高（百万円）	53,709	57,200	3,491	6.5
営業利益（百万円）	6,100	6,200	100	1.6
経常利益（百万円）	6,759	6,800	41	0.6
当期純利益（百万円）	4,141	4,000	△141	△3.4

・1株当たり当期純利益予想は、73円70銭であります。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

なお、これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,885	22,644
受取手形及び売掛金	21,283	22,062
有価証券	27,096	26,097
商品及び製品	4,909	4,818
仕掛品	704	270
原材料及び貯蔵品	3,869	3,441
繰延税金資産	2,255	2,412
その他	3,101	3,905
貸倒引当金	△1	△13
流動資産合計	85,105	85,639
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,163	35,808
減価償却累計額	△24,163	△23,653
建物及び構築物(純額)	11,999	12,154
土地	13,367	13,368
建設仮勘定	16	23
その他	13,788	13,624
減価償却累計額	△11,561	△11,343
その他(純額)	2,227	2,281
有形固定資産合計	27,610	27,827
無形固定資産	1,555	1,810
投資その他の資産		
投資有価証券	25,138	29,610
繰延税金資産	2,013	405
その他	1,462	1,774
貸倒引当金	△47	△45
投資その他の資産合計	28,567	31,744
固定資産合計	57,732	61,382
資産合計	142,838	147,022

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,461	5,623
短期借入金	2,319	2,213
未払法人税等	991	2,300
賞与引当金	2,059	2,045
その他の引当金	650	699
その他	3,775	3,230
流動負債合計	14,258	16,114
固定負債		
長期借入金	1,446	1,294
繰延税金負債	—	168
退職給付引当金	3,786	3,719
役員退職慰労引当金	111	115
資産除去債務	111	—
その他	565	1,389
固定負債合計	6,022	6,686
負債合計	20,281	22,801
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	24,356	24,356
資本剰余金	24,254	24,254
利益剰余金	76,163	75,582
自己株式	△4,337	△4,336
株主資本合計	120,436	119,857
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,938	4,182
評価・換算差額等合計	1,938	4,182
少数株主持分	181	181
純資産合計	122,557	124,221
負債純資産合計	142,838	147,022



(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	31,664	30,976
売上原価	11,111	9,680
売上総利益	20,553	21,295
返品調整引当金戻入額	21	62
返品調整引当金繰入額	16	77
差引売上総利益	20,558	21,280
販売費及び一般管理費	16,687	18,498
営業利益	3,871	2,782
営業外収益		
受取利息	67	43
受取配当金	292	354
その他	137	59
営業外収益合計	497	457
営業外費用		
支払利息	24	25
有価証券売却損	14	—
有価証券評価損	—	93
投資事業組合運用損	142	135
為替差損	50	18
その他	11	13
営業外費用合計	243	287
経常利益	4,125	2,952
特別利益		
固定資産売却益	—	1
投資有価証券売却益	8	340
特別利益合計	8	342
特別損失		
投資有価証券評価損	45	783
減損損失	328	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	110
その他	152	24
特別損失合計	526	920
税金等調整前四半期純利益	3,607	2,374
法人税、住民税及び事業税	1,501	956
法人税等調整額	△295	△31
法人税等合計	1,205	924
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,449
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△4	0
四半期純利益	2,406	1,449

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,607	2,374
減価償却費	1,596	1,360
引当金の増減額 (△は減少)	120	18
減損損失	328	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	110
受取利息及び受取配当金	△359	△397
支払利息	24	25
為替差損益 (△は益)	2	3
有価証券売却損益 (△は益)	14	—
有価証券評価損益 (△は益)	△94	93
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△1
固定資産処分損益 (△は益)	57	24
投資有価証券売却損益 (△は益)	85	△340
投資有価証券評価損益 (△は益)	45	783
売上債権の増減額 (△は増加)	1,022	778
たな卸資産の増減額 (△は増加)	782	△954
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△132	778
仕入債務の増減額 (△は減少)	△723	△1,162
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△196	950
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△0	△861
その他	165	137
小計	6,347	3,724
利息及び配当金の受取額	342	376
利息の支払額	△24	△26
法人税等の支払額	△333	△2,263
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,331	1,810
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△42	△53
定期預金の払戻による収入	50	64
特定金銭信託の払戻による収入	—	41
有価証券の売却及び償還による収入	476	—
有形固定資産の取得による支出	△629	△1,116
有形固定資産の売却による収入	18	8
国庫補助金等受入による収入	159	159
無形固定資産の取得による支出	△148	△109
投資有価証券の取得による支出	△1,158	△416
投資有価証券の売却及び償還による収入	302	478
貸付けによる支出	△186	△141
貸付金の回収による収入	192	185
長期前払費用の取得による支出	△4	△6
その他	△71	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,040	△911

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	210	150
短期借入金の返済による支出	△210	△33
長期借入れによる収入	—	223
長期借入金の返済による支出	△41	△81
リース債務の返済による支出	△48	△32
自己株式の取得による支出	△12	△1
自己株式の売却による収入	1	0
配当金の支払額	△814	△868
財務活動によるキャッシュ・フロー	△914	△644
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,372	251
現金及び現金同等物の期首残高	42,613	48,681
現金及び現金同等物の四半期末残高	46,986	48,932

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	医薬品 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	27,590	4,074	31,664	—	31,664
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,929	1,929	(1,929)	—
計	27,590	6,004	33,594	(1,929)	31,664
営業利益	3,703	88	3,791	79	3,871

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、医薬品事業を中心に事業活動を展開しており、「医薬品」を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

	報告セグメント		その他(注) (百万円)	合計 (百万円)
	医薬品 (百万円)	計 (百万円)		
売上高				
外部顧客への売上高	27,887	27,887	3,088	30,976
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	2	2,119	2,121
計	27,890	27,890	5,207	33,097
セグメント利益	2,630	2,630	109	2,740

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報サービス業、物品販売業及び建設請負業を含んでおります。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	2,630
「その他」の区分の利益	109
セグメント間取引消去	29
固定資産の調整額	12
その他の調整額	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	2,782

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

4. 補足情報

（1）販売実績

当連結累計期間における販売実績を事業セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

区分	前第2四半期連結累計期間 （自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）		当第2四半期連結累計期間 （自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）		増減	
	金額 （百万円）	構成比 （%）	金額 （百万円）	構成比 （%）	金額 （百万円）	増減率 （%）
医薬品事業						
その他代謝用薬	2,409	7.6	3,093	10.0	684	28.4
神経系用薬	1,858	5.9	1,532	4.9	△325	△17.5
感覚器官用薬	1,457	4.6	1,369	4.4	△87	△6.0
循環器官用薬	6,098	19.3	4,730	15.2	△1,368	△22.4
消化器官用薬	1,410	4.4	1,446	4.7	35	2.5
ホルモン・泌尿生殖・ 血液体液用薬	8,215	25.9	8,164	26.4	△50	△0.6
アレルギー用薬	1,132	3.6	1,070	3.5	△62	△5.5
その他	5,007	15.8	6,480	20.9	1,472	29.4
計	27,590	87.1	27,887	90.0	297	1.1
その他の事業	4,074	12.9	3,088	10.0	△986	△24.2
合計	31,664	100.0	30,976	100.0	△688	△2.2
（うち輸出高）	（1,307）	（4.1）	（1,978）	（6.4）	（670）	（51.3）

（注）セグメント間取引については、相殺消去しております。